

赤十字 しずおか

Japanese Red Cross Society SHIZUOKA

2024 特別号



日本赤十字社

いのちとこころを
つなぐ・むすぶ



石川県輪島市内の救護所で活動する日赤救護班

苦しんでいる人を、今、救うために。

赤十字は「苦しんでいる人を救いたい」という思いのもとに
能登半島地震での災害救護をはじめ、救急法等の講習や青少年赤十字など様々な活動を続けています。
これからも赤十字は、苦しんでいる人に手を差し伸べ、いのちを守る組織であり続けます。

赤十字活動への資金にご協力お願いいたします

わたしたちは人道に基づき、「いのちと健康

被災者のいのちを救うために！

災害に備え、立ち向かう

～令和6年能登半島地震への支援～

■ 救護班等の派遣

発災時に迅速かつ的確に任務を遂行できるよう、県内の赤十字病院（静岡・浜松・伊豆・引佐・裾野）に救護班を編成し、日頃から訓練や研修を行っています。

令和6年1月1日に発生した能登半島地震では、被災地に救護班4班、災害医療コーディネイトチーム1班を派遣しました。（1月末時点）



現地で打ち合わせする静岡赤十字病院救護班



被災者に寄り添う浜松



能登半島地震の被害状況



避難所での診察

苦しんでいる人を救うため、私

日常生活の中でも、大切な人を守るために！

赤十字講習を開催する

日常生活での事故防止や、けがをした場合の手当、高齢者支援など、健康で安全な生活を送るための各種講習会を開催しています。

講習についての
詳細は
こちらから



救急法



水上安全法



幼児安全法



健康生活支援講習

令和6年度は、これらの講習を約600回、22,000人の方に受講いただく予定としております。「いざ!」というときのための知識や技術を広めていきます!

これらの活動は、皆様の温かな想いや奉仕によって続け



赤十字病院職員



の様子

■ 救援品の搬送

被災された方に迅速な支援ができるよう、災害救援品を備蓄しています。

能登半島地震では、石川県支部の要請を受け、1月4日に志賀町へ毛布750枚、安眠セット225セットを届けました。



志賀町に
救援品を届ける
支部職員



毛布



安眠セット

■ 近年の救援品交付状況(令和6年1月末時点)

年度	品目	毛布	タオルケット	緊急セット	タオルセット	下着セット (男性)	下着セット (女性)	安眠セット
R 5		871	50	89	205	68	61	225
R 4		302	0	134	1,639	139	134	0
R 3		278	0	132	853	719	695	0
R 2		121	0	54	109	56	49	0
R 1		571	0	433	1,060	114	121	0
合計		2,143	50	842	3,866	1,096	1,060	225

私たちは支援を続けていきます。

人道のもととなるやさしさと思いやりの心を育むために！

青少年赤十字(JRC)活動を推進する

Junior Red Cross

未来を担う子どもたちに、防災教育や奉仕活動などを通じ、学びや体験の機会を提供しています。

令和5年度からは3か年計画で、「やさしさと思いやりの心」を育むような書籍を集め、「青少年赤十字文庫」としてJRC加盟校に整備する事業を進めています。令和5年度は、加盟小学校及び特別支援学校164校に約8,500冊を整備しました。



青少年赤十字文庫を楽しむ児童

令和6年度は、加盟中学校97校を対象に「青少年赤十字文庫」を整備します！子どもたちが自ら「気づき、考え、実行」できるようサポートしていきます！



ことができます。引き続き、赤十字活動をご支援ください。

日本赤十字社の活動

日本赤十字社の活動は、地域のみなさまをはじめ多くの方々の「いのちと健康を守る」ためにあります。

1/ 災害救護活動

災害時にいち早く救護班等を派遣し、救護活動を行います。そのために訓練や研修を通じた人材育成、機材整備、救援品の備蓄等を行っています。



2/ 赤十字講習

「人間のいのちと健康、尊厳を守る」という赤十字の使命に基づき、健康で安全な生活を送るため各種講習を開催しています。



3/ 医療事業・看護師養成

赤十字病院は、救急医療や地域に根ざした医療を行っています。また、災害救護活動に対応できる看護師を養成しています。



4/ 国際活動

世界的ネットワークを活かして、紛争や自然災害による被災地への緊急支援、中長期的な復興支援を行うための職員派遣や事業を行っています。



5/ 赤十字奉仕団

「人の役に立ちたい」という思いを持つ人々が集まり、災害時を中心に、様々なボランティア活動を行う奉仕団を支援しています。



6/ 青少年赤十字

園児・児童・生徒に赤十字の精神を伝え、「やさしさと思いやりの心」を育む事業です。子どもたちが主体性をもって活動するための教材やプログラムを提供しています。



7/ 血液事業

輸血を必要とする人のため、献血を呼びかけ、安全な血液製剤を24時間体制で医療機関へお届けしています。



公式Xで
静岡県支部の活動
を発信しています!



令和4年度の実績報告

令和4年度は、総額533,985千円の事業を行いました。このうち9割以上はみなさまからの寄付によるものです。ご協力ありがとうございました。

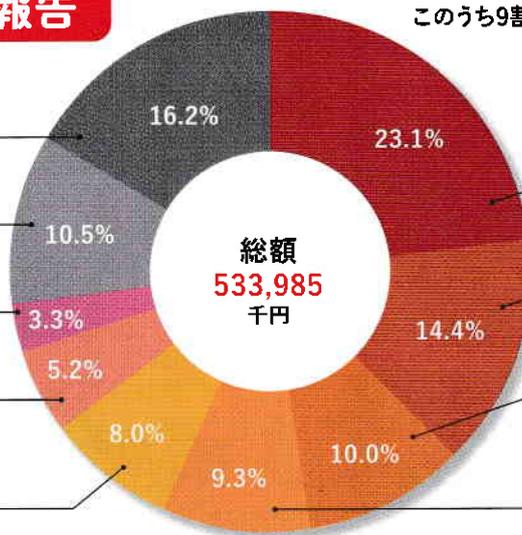
■ 活動の管理運営のために
86,257千円

■ 施設管理のために
56,306千円

■ 会員への加入促進のために
17,827千円

■ 赤十字活動の理解促進のために
27,909千円

■ 赤十字奉仕団・青少年赤十字・国際活動のために
42,562千円



■ 救護・救援活動のために
123,200千円

■ 市町の赤十字活動のために
76,876千円

■ 医療事業・救護看護師養成のために
53,524千円

■ いのちと健康を守る知識と技術の普及活動(赤十字講習)のために
49,524千円

遺贈(遺言によるご寄付)
相続財産寄付を
承っております。

近年、「自分が築いた財産を社会のために役立てたい」「故人の遺産を社会に役立ててほしい」という尊いお申し出が増えています。詳細をご希望の場合は、ご案内のパンフレットをお送りいたしますので、静岡県支部(下記)までお問い合わせください。

※日本赤十字社への遺贈・相続財産寄付は相続税がかかりません。



静岡県支部

〒420-0853 静岡市葵区追手町44-17

TEL 054-252-8131 <https://www.jrc.or.jp/chapter/shizuoka/>

日本赤十字社
Japanese Red Cross Society



この印刷物は、みなさまからいただいた資金で作っています。